

欧米、冬のコロナ流行警戒

オーストリア都市封鎖

【ウィーン＝細川倫太郎、ニューヨーク＝山内菜穂子】欧米で新型コロナウイルスの感染が冬の流行期に入りつつある。オーストリアはロックダウン（都市封鎖）の導入を決めたほか、来年2月からはワクチン接種も義務づける。消費が盛り上がるクリスマス商戦が本格的に始まるのを前に、感染拡大を食い止められるかが焦点になる。



来年2月接種義務化

米ジョンズ・ホプキンズ大によると、18日時点の欧州の新規感染者数（7日移動平均）は約23万8000人で、1カ月

前に比べ倍以上に増えた。ワクチン効果の低下や規制緩和、人々の気の緩みなど複数の要因が重なっているとみられる。

オーストリアは22日から最大20日間の都市封鎖に入る。仕事や食品の買い出しなどを除き原則外出禁止となる。同国では新規感染者が1万5000人前後と過去最多水準となっている。

ワクチン接種率は65%前後にとどまる。シャレンベルク首相は19日の記者会見で「接種率を持続的に高めることが悪循環から抜け出す唯一の方法だ」とし、来年2月1日から幅広い人を対象に接種を義務づけると発表した。欧米メディアによると義務化は欧州連合（EU）加盟国で初めて。

ドイツも18日にワクチン未接種者は感染拡大地域で飲食店の利用ができなくなるなどの規制強化策を発表した。ロイター通信によると、シュパーン保健相は19日、すべての人を対象にしたロックダウンの可能性も「排除できない」と語った。

ベルギーは17日、週4日の在宅勤務を義務づけた。アイルランドもパブやナイトクラブの営業時間の短縮を命じた。チェコやスロバキアもワクチン未接種者を対象にした行動規制を導入する。

米国でも危機感が強まっている。新規感染者数は足元で約6週間ぶりに9万人を超えた。中西部ミシガン州デトロイト市の学区は17日、12月の毎週金曜日は自宅でのオンライン授業に切り替えると発表した。国防総省は近く、中西部ミネソタ州に医療チームを派遣し逼迫する病院を支援する。